



MARUTANE  
Quality Seeds

Japanese Green **ハナナ**

宇治交配

# CR 花かんざし

**根こぶ病抵抗性で、分枝の多い中生種、  
粒揃いと締まりの良い花蕾は品質最高**

## 特 性

- ① 根こぶ病抵抗性なので、汚染圃場でも安心して栽培できます。
- ② 生育旺盛で耐寒性に優れた年内～冬どり中生品種です。
- ③ 粒が小さく、色が濃緑で諸病(菌核病・ウイルス病)に強い品種です。
- ④ 花蕾・花梗共にボリューム感があり、粒揃いと締まりが良く品質は最高です。



## 栽培のポイント!

### ① 播種準備

畑地・水田を問わず完熟堆肥を投入し、地力を高めることが大切で、品質のよい花蕾を長期間収穫するための基本となります。『色あせ』を防ぐための施肥の基本は**肥効を継続させることです**。元肥としては窒素で10～15kg/10a程度がよく、緩効性肥料を主体として、使用することをお勧めします。

### ② 播種・間引き

畝幅は2条植えの場合130～140cm、1条植えで80cmとし、9月上旬までの播種で、株間30～35cm、それ以降の播種で25～30cmで一カ所に5～6粒の点播とします。間引きの方法は本葉2～3枚期に一カ所3本程度残し、本葉5～6枚時に1本仕立てとします。又、移植栽培の場合は、直播き

栽培の7～10日ほど早くまき、若苗定植を心がけ、定植後の活着を良くしてやるのが大切です。

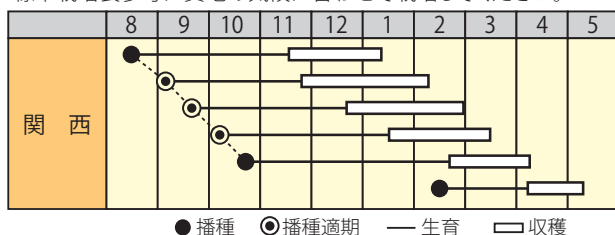
### ③ 収穫までの管理

発芽直後は特にアブラムシ・キスジノミハムシ等の食害には十分注意し、もし発生の兆候が見られたら直ちに薬剤散布による、防除をしてください。前述のように、はなな栽培においては「肥効の持続」がポイントですので、株の状態をみながら適時追肥してください。

### ④ 収穫

8月下旬～9月上旬播種の場合、主枝は11月下旬に収穫適期となり、12月中旬～1月上旬より第二・第三側枝が次々と伸長し収穫適期となります。

標準栽培表参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。



## イタリアンでも美味しい!

### 花菜のアンチョビソース炒め

花菜をさっとゆがきます。茹ですぎると蕾が崩れてしまうので注意。  
オリーブオイルにアンチョビとお好みでニンニクを加えソースを作ります。  
水をしっかり切った花菜をソースに絡めてイタリアンの小鉢が完成です。  
パンに乗せても美味しい!!

